



なないろ

いつも虹の家の経営に温かなご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。虹の家では、利用者の皆さんに4月の始業の会で今年度ががんばって欲しいことを3点お願いしました。「自分から進んで作業に取り組みましょう」「仲間が喜んでくれることを進んでやりましょう」「心の体も健康になりましょう」このことが前期にどのくらいできたかを皆さんに評価していただきました。その結果をお知らせ致します。後期に向けてさらなる改善を図り、利用者の皆さんが充実した事業所での生活が送れるよう支援してまいります。

1. 工賃に満足していますか？

① 満足(まんぞく)している ⇒ 37名



◆職員は、いろいろな会社の人とお話しをしてみなさんができる仕事をさがします。

② ふつう ⇒ 13名



☆みなさんが、工賃をたくさん頂くための第1は、休まずに毎日出勤することです。

③ 満足していない ⇒ 8名

☆作業の開始時間を守ったり、集中して作業したりして沢山の製品を完成させることが大切です。他の利用者のみなさんや職員からがんばっていると認められるようになります。



2. できる作業が増えたり、上手に作業ができたりしましたか？

① 沢山できるようになった ⇒ 44名

② 少しできるようになった ⇒ 11名

③ かわらない ⇒ 3名



◆職員は、利用者のみなさん一人一人がどんな仕事をやりやすいかを考えてお願いします。作業方法を提案して「完成数」「出来るようになった作業」等を知らせて挑戦意欲を高めています。できるようになったときは、適宜賞賛します。

◆職員は、新しい作業を行う際、皆さんに手順書などを活用して丁寧に説明します。





☆挑戦したい作業を決めて、できるようになるための目標を職員と相談して取り組んでできるようにしましょう。

☆作業の仕方などでわからないことがあったら職員にわかるまで聞きましょう。



◆職員は、利用者みなさんが、がんばれる作業の場や楽しい行事を計画します。そこで、がんばっている人をたくさん紹介します。良いところに職員が気づいた時には、すぐに褒めたり、みんなに紹介したりします。

3. 自分や他の利用者さんの良いところがわかりましたか？

① たくさんわかった ⇒ 32名

② 少しわかった ⇒ 21名

③ わからなかった ⇒ 5名

☆良いところを褒めてもらうと自信がもてるうれしくなります。だからよいところはみんなで褒め合いましょう。



☆仲間の良いところは、自分もできるようになるようにしましょう。

4. 自分から進んであいさつをしましたか？



① たくさんした ⇒ 38名

② 少しした ⇒ 18名

③ しなかった ⇒ 2名

◆職員もみなさんといっしょに進んであいさつをしました。



☆組や自治会であいさつ運動を計画しましょう。



☆朝は、一日のスタート自分から進んであいさつをすると気持ちよく仕事ができることをわかりましょう。あいさつをしてもらった人もとてもすがすがしい気持ちで一日のスタートができます。

5. 運動できたと感じますか？



① たくさんできたと思う ⇒ 22名

② 少しできたと思う ⇒ 18名

③ できなかった ⇒ 14名

◆ 職員も利用者の皆さんとバスケットボールやウォーキングなど一緒に運動をします。



☆ 楽しみながら運動して体力を高めましょう。バスケットボール・フラフープ・なわとびなど時間や回数に挑戦しましょう。

☆ 運動すると心もスッキリして生活が楽しくなります。仲間と一緒に運動するととても良い気持ちになります。



6. 虹の家での生活で健康に過ごせたと感じますか？

① しっかりできた ⇒ 38名

② まあまあできた ⇒ 16名

③ できなかった ⇒ 4名

◆ 職員がうがいや手洗いをやりやすいように、手洗い場をきれいにしたり、石けんを置いたりしています。



☆ うがい・手洗いなどは、虹の家にいるときだけでなくどこでもできるようにしましょう。

☆ 自分の体調や体重などを考えて計画を立てて運動しましょう。



☆ 定期的に通院している人はお医者さんから言われたことをしっかり守りましょう。



R5 目指す利用者様像と具体的な取組み

「進んで作業に取り組む利用者様」

作業目標1

前年度よりも高い工賃（15,589円以上）を目指します。

- 高い工賃単価の企業を開拓します。
- 既存作業の手順を見直し、効率を高めます。
- 目標工賃の達成のために会議を行い、PDCAサイクルを回します。

作業目標2

「できる作業が増えた」「上手に作業できるようになった」と肯定的評価をする利用者様を80%以上にします。

- 作業におけるつまづきを見極め、個別に作業方法を提供します。
- 新しい作業に携わる機会を提供し、作業方法を丁寧に伝えます。
- 作業意欲を高めるために「褒める」等の支援を行います。

「思いやりのある利用者様」

かかわり目標1

「自分や他の利用者様のよさがわかった」の肯定的評価をする利用者様の割合を80%以上にします。

- 自治会活動や作業等において利用者様同士がかかわり合う活動場面を設定し、仲間のよさがわかるようにします。
- 利用者様同士がお互いの良さを認め合う機会を設けます。
- 利用者様が活躍する場面設定をし、活躍を紹介する機会を設けます。

かかわり目標2

進んであいさつをしたり、返したりしている利用者様を90%以上にします。

- あいさつについて話し合う機会を設けます。
- 職員から率先してあいさつをします。

「心身ともに健康な利用者様」

健康目標1

体を動かす機会を提供し、「運動をたくさんした」と感じる利用者様を80%以上にします。

- 多様な運動を紹介し、利用者様が好きな運動を選択できるように支援します。
- 楽しんで運動に取り組むことができる方法を提案します。

健康目標2

健康に過ごすための取組みを、自治会活動等を通して提供し、健康に過ごせたと感じる利用者様を80%以上にします。

- 感染症予防（手洗い・うがい等）について、自治会や作業班単位でICT活用、構造化、可視化等の効果的な手法を用いて支援します。
- 給食時、「一口10回噛む」ことができるよう、具体的な支援を提供します。
- 気候に応じた衣類の選択や適切に着替えができるよう、具体的な支援を提供します。